

令和 6 年度
第 3 回赤磐市地球温暖化対策実行計画推進協議会
次 第

日 時 令和 6 年 12 月 25 日（水）
午前 9 時 30 分～11 時 30 分
場 所 赤磐市役所 3 階 第 1 会議室

1 開会

2 議 題

（１） 赤磐市地球温暖化対策実行計画前回素案からの修正箇所等
について

（２） その他

3 閉会

令和6年度委員名簿

〔任期〕 令和6年9月12日～令和8年9月11日

役員区分	氏名	所属	備 考
会長	木村 幸敬	岡山大学	
副会長	光成 良充	赤磐市議会	
	佐々木 武重	赤磐市自治連合会	
	柴奥 貴志	晴れの国岡山農業協同組合	
	平井 修二	美作東備森林組合	
	原地 慶充	赤磐商工会	
	武村 和彦	株式会社トマト銀行	
	高橋 宏彰	みのる産業株式会社	
	古澤 慶一	大和リース株式会社	
	岡本 尚子	岡山県	

（参考）事務局名簿

所 属	役 職	氏 名	備 考
市民生活部	部長	矢部 勉	
〃 環境課	課長	安藤 伸一	
〃 〃	班長	佐々木 信行	
〃 〃	主査	題府 勝介	
〃 〃	主事	木原 可南子	
総合政策部政策推進課	課長	山崎 和枝	

地球温暖化対策実行計画（区域施策編）素案に対する委員からの意見と対応

番号	最新頁	最新項目	素案に対する意見	対応	関連箇所
1	1	1	計画の目的が書かれていない。	ご意見のとおり1章に計画の背景や目的、位置づけ、計画期間について記載しました。	
2	15	2.4.1	・「おかやま新エネルギービジョン」は温暖化対策のメイン計画ではない。「地球温暖化防止行動計画(H23地球温暖化対策実行計画に改定)」がメインでエネルギービジョンは付属的なものなので第1に取り上げるのは違和感がある。 ・環境基本計画は環境全体が対象であり温暖化とは関連がないので基本計画の部分は削除したほうが良いのでは。 ・気候変動適応計画として位置づけられているものは地球温暖化対策実行計画です。	ご意見を踏まえ、「地球温暖化対策実行計画」に関する説明がメインになるよう全体的に見直しました。	
3	40	7.1 表7-2	自然災害が少ないの標記に疑義 平成30年豪雨災害では吉井地区は被災している。同時に砂川も決壊寸前であった。 遡ると平成10年洪水で死者まで出ており、以下のとおり記録が残っているが現状の表記でよいのでしょうか？ 「10月17日～18日の台風10号による集中豪雨は、吉井川沿川の各地に大きな被害をもたらし、赤磐市吉井町などで死者2名、行方不明者1名という惨事を招きました。さらに、吉井川の氾濫などにより、床上浸水3,229戸、床下浸水2,661戸の浸水被害が発生するとともに、多くの道路が通行不能となり、地域住民は大きな被害を被りました。」	表7-2は本市が策定している第1期赤磐市まち・ひと・しごと創成総合戦略において、本市が持続的に発展するため有効に利活用すべき資源や優位性を記載している内容を整理したものです。趣旨としては、他の地域と比較して自然災害が少ないという地域性を表現したのになりますので、本計画では「自然災害が比較的少ない」という表現に改めました。	

番号	最新頁	最新項目	素案に対する意見	対応	関連箇所
4	48	8	・施策となっているが、今回の質疑を拝聴すると「アイデア」又は「検討する」レベルでありましたが、それでよいのでしょうか？ 「赤磐市地球温暖化対策実行計画」という名称を勘案すると実現可能性や具体性が必要ではありませんか？ ・特に空調への地中熱活用は実現可能性が低すぎると考える。 赤磐市に火山や温泉のような地域資源があれば掲載すべきだろうが、掲載するレベルではないように感じますがいかがでしょうか？	・ご意見の通り実現可能性や具体性は非常に重要と認識しておりますが、本計画では赤磐市の今後の地球温暖化対策に対する方針を示すものとして検討可能性のあるものも含めて記載としていること、ご理解ください。 ・地中熱利用は、地上の気温と比較して冬は高く、夏は低いという地下の安定した温度環境を活用し、冷房・暖房・給湯等の熱源に利用するもので、火山や温泉などの資源がない地域でも広く導入可能性のある再生可能エネルギーとなっております。そのため今後市内でも導入可能性のある施策の一つとして記載しております。 これを踏まえ、コラムに地中熱に関する解説を追加しました。	
5	51～70	8.1～8.9	・8.1～8.9の表記が見づらい 例えば、8.1公共施設の取組 と（１）太陽光発電及び蓄電池・・・のフォントサイズが同じである。（１）太陽光発電及び蓄電池・・・はサイズを小さくするなどの工夫が必要 ・8.2～8.8（8.5除く）が文中にあり上記の理由から見出しとしてわかりづらい ・8.5だけで1ページを要しているので改ページの見直し	ご意見の通り、表記方法について見やすくなるよう全体的な見直しを図りました。	
6	56	8.2.3	勉強会については、事業者アンケート結果と矛盾していませんか？ アンケート結果ではほぼニーズが無い結果に基づく必要はありませんか？	第1回協議会ではスケジュールの都合上、事業者アンケート結果が反映されていないものをお示ししていたため、事業者アンケート結果を踏まえ修正しました。	
7	58	8.3.3	農業について、ハウスの温度を上げれば良いというものではなく、管理まで実際に木質バイオマスでできるのか。	木質バイオマスの活用事例についてはコラムとして追加しました。また、「現在は加温に化石燃料が…活用することを検討します」を「研究します」に修正しました。	
8	58	8.3.3	前回の会議でのJAさんからの意見を踏まえて見直しが必要と感じましたがいかがでしょうか？		

番号	最新頁	最新項目	素案に対する意見	対応	関連箇所
9	58, 64	8. 6. 1	群馬県安中市の早生桐の補助金の事例や早生樹（エリートツリー）の導入などを研究してはいかがでしょうか？ 耕作放棄地などを活用し、排出権取引を行うことで、収益化すれば農家や土地所有者の収入につながりCO2吸収が増え、市としては排出抑制だけでなく、赤磐市としても、企業誘致に対しても吸収によるメリットを享受できるように考えます いかがでしょうか？ 新聞記事 https://www.asahi.com/articles/ASQ9G74VVQ8SUHNB00C.html 具体的な施策 https://www.city.annaka.lg.jp/page/1974.html	いただいたご意見については今後の施策展開の参考にさせていただきます、本計画においては事例としてコラムに追加しました。	
10	68	8. 8. 1	・児童、生徒に対しては、教育委員会、教員の理解が重要だと考えますが、それに触れておく必要があるのではありませんか？ ・事業者への働きかけで、「地元商工会や関連団体と連携」という表現があるが、なぜ、ここだけ具体的に商工会という名称がでてきたのでしょうか？他の所では固有の名称は出ていないので「関連団体と連携」でよいのではないのでしょうか？	ご意見の通り「教育委員会と連携し」の文言を追加しました。 ご意見の通り「関連団体と連携」に修正しました。	